取扱説明書

簡易取り付け型

保管用

白熱灯シーリング・リモコン

（天井付専用）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取扱説明書には取り付け方や電球の交換方法、お手入れのし方などご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取扱説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

■仕　様

品 番	適合電球
LE-3850	E17 PS35 ﾐﾆｸﾘﾌﾟﾄﾝ電球(ﾎﾜｲﾄ)110V60W以下×6灯

この取扱説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❶　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⊘　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け　取り扱い上の注意

すぐ取り付けられます

角形引掛けシーリングボディー

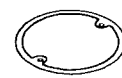
丸形引掛けシーリングボディー

引掛け埋め込みローゼット

配線器具の取付工事が必要です(電気店・工事店へ依頼してください。)

配線だけの場合

付属の引掛けシーリングボディーを取り付けてください。

アウトレットボックスの場合

市販の引掛け埋め込みローゼットを取り付けてください。

⚠警告

⊘ 破損したりガタついている配線器具には取り付けないでください。
配線器具を取り替えてから器具を取り付けてください。
★器具の落下事故や漏電による火災、感電事故の原因となります。

⊘ 樹脂製ボックスカバーには取り付けないでください。
★器具の落下事故の原因となります。

❶ 付属の引掛けシーリングボディーの取り付けや配線器具の交換は、有資格者による工事が必要です。
電気店または工事店に依頼してください。　**★一般の方の工事は法律で禁止されています。**

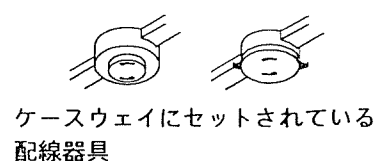
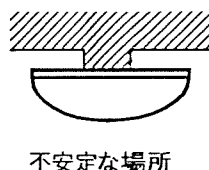
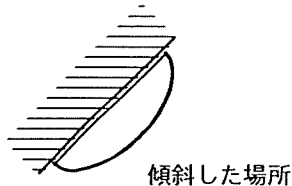
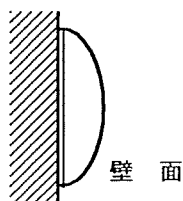
⊘ 一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿気の多い場所では使用できません。
★感電事故や漏電の原因となります。

⊘ 次のような場所には取り付けないでください。　**★器具の落下事故によるけがの原因となります。**

壁　面

傾斜した場所

不安定な場所

ケースウェイにセットされている配線器具

⊘ 器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。
★火災や感電事故の原因となります。

⊘ 器具の下面を布などで覆わないでください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⚠注意

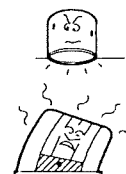
❶ AC100V専用です。必ずAC100Vの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し火災の原因となることがあります。

⊘ 温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くに設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

⊘ 殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

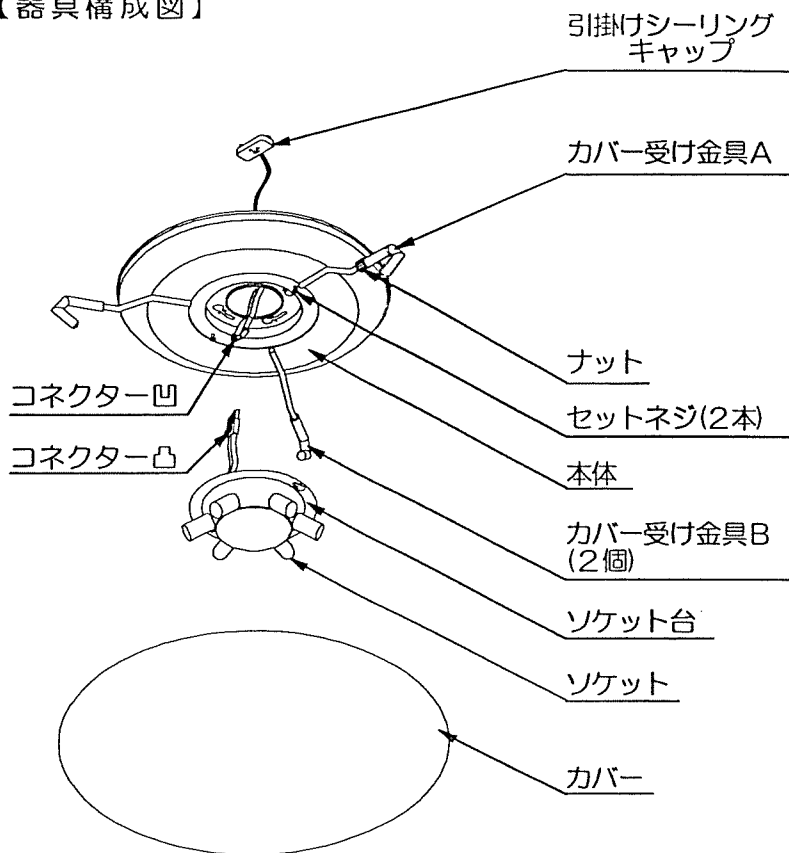
❶ この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

⊘ ヒビの入ったカバーや、一部が欠けたカバーは使用しないで下さい。
★カバーの破損、落下の原因となります。

⊘ 調光器（ライトコントロール）との併用はできません。
★不良点灯（チラツキや立ち消えなど）や調光器、照明器具の故障の原因となります。

各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

【器具構成図】

引掛けシーリングキャップ
カバー受け金具A
ナット
コネクター凹
セットネジ(2本)
コネクター凸
本体
カバー受け金具B（2個）
ソケット台
ソケット
カバー

【付属品】

- 引掛けシーリングボディー・・・1個

  取り付けは、工事店または電気店にご依頼ください。

- E17 PSﾐﾆｸﾘﾌﾟﾄﾝ電球（ホワイト）110V60W・・・6個
- 取り付け金具・・・・・・・・・1個（本体取付けネジ２本付き）
- 木ネジ（引掛けシーリングボディー用）・・２本
- 座付き木ネジ（取り付け金具用）・・２本
- 取り扱い説明書・・・・・・・1枚（本書）
- 保証とアフターサービスについて・・・・・・・・・・・1枚

リモコンセット

- リモコン送信機・・・・・1個
- 単三乾電池・・・・・・2本
- リモコン取扱説明書・・・・・・1枚

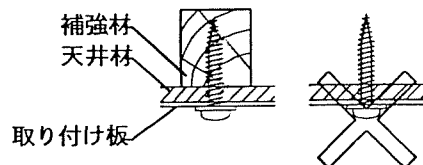
取り付け場所の確認

※インバータ照明器具の近くでは、他の電気製品の赤外線式リモコン動作がしなくなる場合が、ごくまれにありますのでご注意ください。

⚠警告

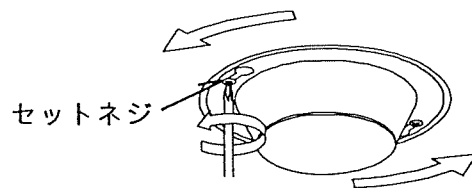
取り付け金具は、必ず補強材のある場所に取り付けてください。
★補強材のない場所に取り付けた場合、器具の落下事故の原因となります。

⚠注意

建物の構造によっては、付属の木ネジでは取り付けられないことがまれにあります。そのような場合には、器具取り付け場所の構造を確認の上、適切な長さの木ネジにて取り付けてください。

取り付ける前に

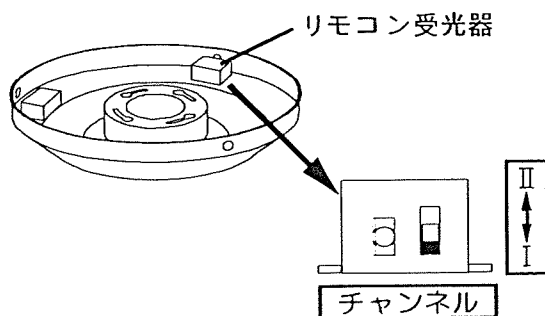
●器具を取り付ける前に

本体からソケット台をはずしておきます。

①セットネジ（２本）をゆるめます。
②ソケット台を左に回転させ、ソケット台をはずします。

●リモコン受信チャンネル番号を設定します。

本体を取り付ける前に、本体内側にあるリモコン受信チャンネルを設定します。リモコンのチャンネルは、工場出荷時には「１」になっています。

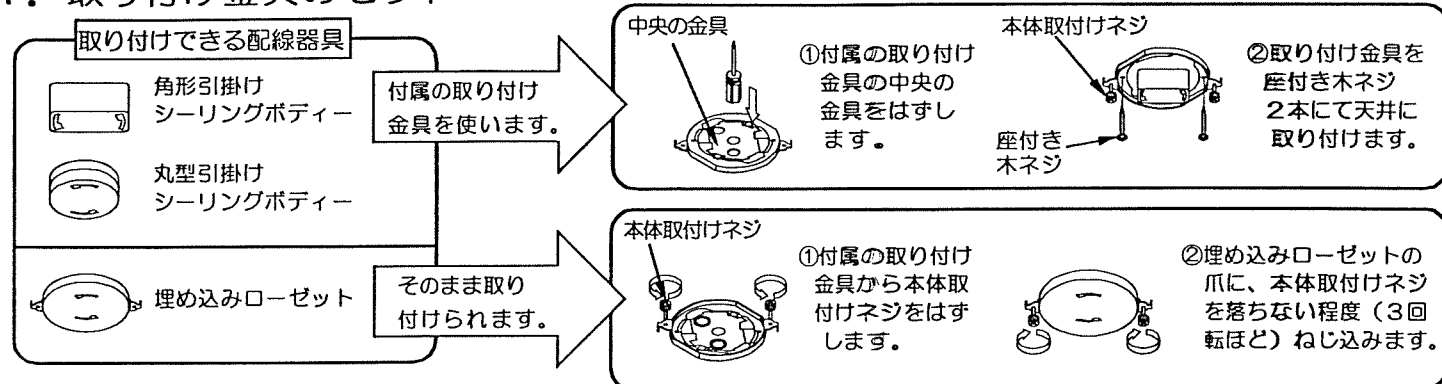
同じ部屋に当社の白熱灯リモコン器具を２台取り付ける場合。

器具	本体側チャンネル	送信機側チャンネル
１台目	1	1
２台目	2	2

（リモコンの詳しい操作方法については、別紙の「赤外線リモコン取扱説明書」をご覧ください。）

取り付け方

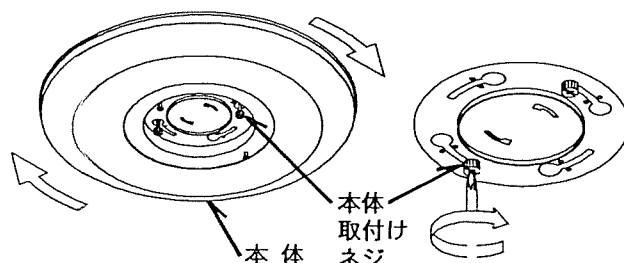
⚠注意 ❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠**警告** 器具の取り付けは、説明書に従い確実に行なってください。
★取り付けに不備があると、器具の落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

1. 取り付け金具のセット

2. 本体のセット

①本体取り付けネジの頭を本体のダルマ穴に通します。
②本体を右に回し、ネジの頭が溝の中央付近にきたら
ネジをしっかり締めて本体を固定します。

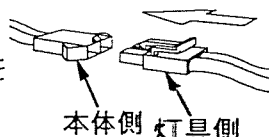
⚠ **締め込みが不十分な場合、器具の落下による「けが」の原因となります。**

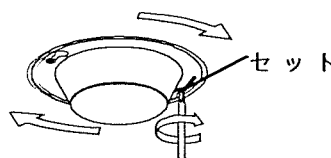
本体
本体
取付け
ネジ

3. 引掛けシーリングキャップの接続

●引掛けシーリングキャップを引掛け埋め込みローゼット、
または、引掛けシーリングボディに差し込んで、時計方向に
止まるまで回転させます。

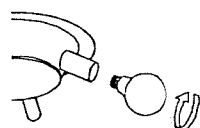
引掛け
シーリング
キャップ

4. コネクターの接続

●本体側のコネクター凹と灯具側のコネクター凸を
接続します。

5. ソケット台のセット

①ソケット台のダルマ穴に本体のセットネジを通します。
②ソケット台を右に止まるまで回転させてから、
セットネジを締め込み固定します。

6. 電球のセット

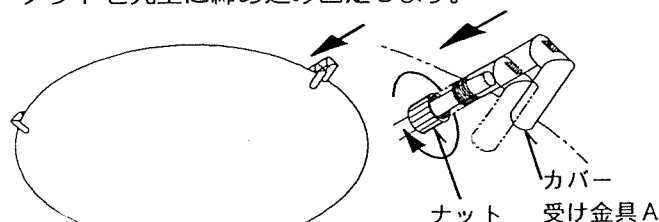
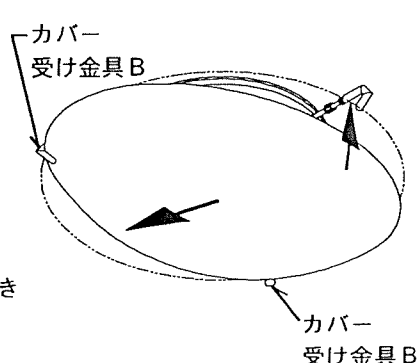
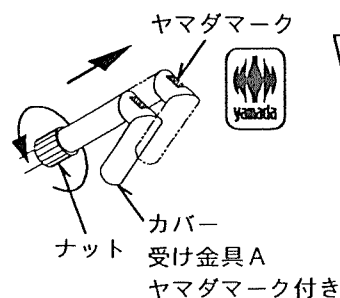
⚠**注意** 電球は乱暴に取り扱わないでください。
★電球割れなどの事故の原因となります。

●電球をソケットにねじ込みます。

7. カバーのセット

⚠**注意** **カバーはガラス製で重量も有ります。**
取り付け作業は、なるべく2人で行なうようにしてください。

①カバー受け金具Aの
ナットをはずし、
カバー受け金具Aを
引き出します。

②カバー受け金具B
（固定…２箇所）に、
カバーの端を差し入れます。

③カバーを片手で押さえながら、引き出した
カバー受け金具Aを本体の方へ戻し、
カバーが完全に引っ掛った事を確認後、
カバー受け金具Aを片手で押さえながら
ナットを完全に締め込み固定します。

⚠ **ナットの締め込みが不十分な場合、器具の落下による「けが」の原因となります。**

スイッチ操作

1. 壁スイッチを「ON」にします。
2. リモコン送信機のチャンネル番号を受信器のチャンネル番号に合わせます。
3. リモコン送信機の点灯モードボタンを押して点灯させます。

※(リモコン送信機の詳しい操作方法については別紙の「赤外線リモコン取扱説明書」をご覧ください。)

※ご使用にあたって

●お出かけの際や長時間使わないときには、壁スイッチを『OFF』にしてください。

★リモコンで消灯し、壁スイッチが「ON」の状態の場合、リモコン待機の電力(約1W)を消費します。

★リモコンで消灯し、壁スイッチが「ON」の状態で停電が起きると、停電が回復したときに、点灯状態になることがあります。

お手入れについて

⚠注意 ❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

●こまめに清掃を：照明器具や電球が汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

⚠注意

●電球の交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後の電球は熱くなっています。絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。**★火傷の原因となります。**

●濡れた手で触らないでください。　**★感電事故の原因となります。**

●電球は乱暴に扱わないでください。　**★電球が割れてけがをする恐れがあります。**

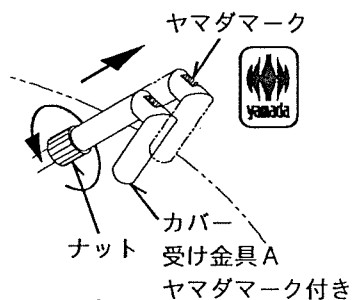
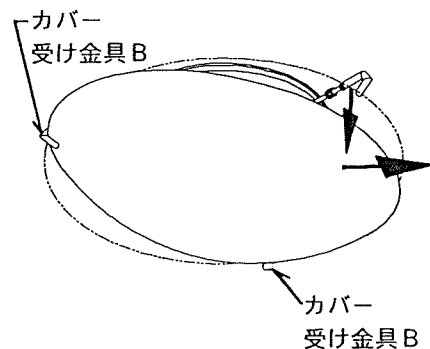
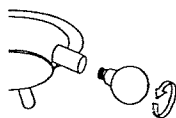
●適合電球以外の電球は使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しい電球をご使用ください。
★不適合な電球を使用すると異常加熱による火災の原因となります。

●シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。
★器具に傷をつけたり変色や変質の原因となります。

◆電球の交換

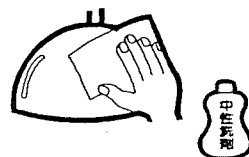
⚠注意 **カバーはガラス製で重量も有ります。**
電球の交換作業は、なるべく2人で行なうようにしてください。

1. スイッチを切ります。
2. カバーをはずします。

①片手でカバー受け金具Aを押えながら、内側にもう一方の手を差し入れ、ナットをはずした後、片手でカバーを押えながらカバー受け金具Aを引き出します。

②カバーをカバー受け金具Bから静かにはずします。

3. 電球を交換します。

4. カバーを取り付けます。

『●取り付け方』の「6. カバーのセット」の項をご参照ください。

◆お手入れのしかた

①スイッチを切ります。
②柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
③汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
④最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態になりましたら直ちに使用を中止し、**器具の型番**(器具本体のラベルでご確認ください)、**故障の状況**、**ご使用期間**をご確認の上、お買い上げいただきました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口までご相談ください。